

ママワークスクール

「親子でチャレンジ！プログラミング講座」



開催日時： 令和元年8月20日（火）10:30～12:00
 開催場所： 福岡県rubyコンテンツ産業振興センタープレゼンテーションルーム
 対象者： 小学校低学年のお子様とそのお母様
 参加者数： 15組（大人：15名 子供：23名（※小学生：17名・同伴の乳幼児：6名））
 主催： 九州経済産業局

プログラム

10:30～10:35 開講の挨拶
 Work Step株式会社 代表 田中 彩氏

10:35～11:45 講座実施
 「親子で始める わくわくプログラミング入門」
 麻生教育サービス株式会社 國武 志織氏

11:45～12:00 わたしRestartプロジェクト説明会
 Work Step株式会社 田中 彩氏

12:00 閉講



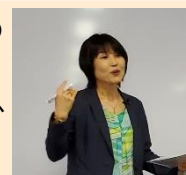
事業紹介

令和元年度 九州経済産業局における地域中小企業・小規模事業者の人材確保支援事業をWork Step株式会社が委託を受け、九州地域の中小企業・小規模事業者の発展に向けた経営支援セミナーや次世代女性リーダー育成、復職を希望する女性に向けたリカレント講座など、様々な学びの場をつくります。

その事業の一つ、人材の潜在層として注目される復職希望女性のリカレント教育を経て中小企業にマッチングする「復職女性インターンシップ事業」を実施するにあたり、STEP1として「ママワークスクール「親子でチャレンジ！プログラミング講座」を開催いたしました。

開講の挨拶

Work Step株式会社 代表の田中彩より自己紹介後、本事業を委託されたWork Step株式会社の活動内容の紹介を行いました。そして、本事業の第一弾として「親子でチャレンジ！プログラミング講座」を開催することになり、これからの時代、必要とされるプログラミングをお子さまが学び、備えていく姿を見て、「いつか働きたい」と考えているお母様自身も、再就職にあたり、どのようなスキルや能力が必要となるか、ということ意識するきっかけにしていきたい、という思いを伝えました。



Work Step株式会社
代表 田中 彩氏

講座実施



麻生教育サービス株式会社
國武 志織氏

「親子で始める わくわくプログラミング入門」

講師はシステムエンジニアとしてのキャリアをベースに、現職でITエンジニアを目指す人材の教育にあたっている麻生教育サービス株式会社の國武氏。近年は子ども向けのプログラミング講座にも携わり、ものづくり体験としての達成感が得られることや、分かりやすい指導が好評です。

講座がスタートすると、國武氏のはっきりとした聞き取りやすい声に子供達が耳を傾け始め、賑やかだった会場が次第に静かになりました。

プログラミングとは、「命令を出す」、「命令通り動かす」こと。例えば、単に声を出すように命令されると、子供たちはそれぞれバラバラのタイミングで声を出しますが、「3秒声を出してやめる」と明確に命令を出すことで、みんなが講師の意図した命令通りに揃って声を出すことができるようになります。

このように子供たちに分かりやすく説明し、定期的に質問を投げかけることで、子供たちの集中力を切らさない工夫をしながら講座が進められました。

ママワークスクール 「親子でチャレンジ！プログラミング講座」

本講座では、「Scratch」というプログラミングソフトを使用しました。まずはユーザー登録から。お母様がサポートしながら、子供たちの思い思いのユーザー名でアカウントを作成しました。

そして、スプライト（キャラクター）を動かす作業に入り、Scratchを起動してすぐに表示されるネコのスプライトを使用しました。



メイン画面には命令が表示されているブロック（ボタンのようなもの）があります。ブロックグループには「動き」「見た目」「音」「ペン」「データ」「イベント」「制御」「調べる」「演算」「その他」の10個のスク립トグループがあり、それぞれに色々なブロックが用意されています。子供たちは講師の説明に従って、ブロックグループから自分でネコが動く方向や速さを決めたり、コスチュームを変えたり、登場人物を増やして挨拶させる、などの作業に取り組みました。

不明点が出てくると即座に手が挙がり、講師やサポートスタッフが都度対応しながら作業が進められました。

子供たちはとても真剣な表情で作業に集中し、マウスを使いこなす姿も様になっていました。ネコが「ニャー」と鳴く設定ができると、いろんなところで鳴き声が響き、笑顔を誘うシーンも。設定したプログラム内容が命令通りに動いているかを確認し、全参加者のプログラミングが完成しました。

最後に、自宅でも続きの作業ができるよう、ログイン方法のおさらいをして、講座が終了しました。

本来は3時間を要する講座内容を1時間でを行う為に、タイピング作業はお母様にやっていただくなど、親子で協力して作業を進めていただいたので、時間内に終了することができました。



わたしRestartプロジェクト説明会

講座終了後、プログラミングが完成した喜びの余韻で賑やかな雰囲気の中で、Work Step株式会社 代表の田中彩より「わたしRestartプロジェクト」の事前説明会を始めました。

このプロジェクトを委託・運営しているWork Step株式会社はお母達が希望する働き方を叶えるためのマッチングを行う人材紹介会社であること、また、2020年春の再就労を目指すお母様達を支援する、「ママランチ®育成講座」、「ママドラフト会議®&企業との交流会」、「有償インターンシップ」までが一体となったプロジェクトであることを、昨年の「わたしRestartプロジェクトの実績を交えて説明を行いました。

初めはアンケートを書きながら聞いていたお母さま達も、段々と顔を上げて話を聞いてくださり、興味深そうな表情のお母様も数人いました。

総括

本講座は募集開始から2日で定員10組のお申込みがあり、キャンセル待ちが出るほどの反響がありました。お問い合わせやキャンセル待ちのお申込みが増える状況を鑑み、ノートPC持参の方に限り、5組の追加枠を設けることになりました。2020年から小学校でプログラミングが必修化される為、プログラミング講座への関心度は非常に高く、加えて「夏休み期間中」、「子どもと一緒に参加ができる」、「無料の講座」ということで、多数のお申込みがありました。

講座自体の満足度も非常に高く、「分かりやすい説明で良かった」、「子どもがプログラミングに興味を持ってくれて良かった」などの声がありました。

参加されたお母様のうち、「就労していない」方は8名。そのうち「求職中」は1名、もしくは「条件が合えば1年以内に働きたい」は6名で、就労していない方の大半が再就労に前向きな気持ちを持たれていました。

このうち、「わたしRestartプロジェクト」に『参加したい』は1名、『今すぐではなく、将来的に参加したい』は3名で、プロジェクト参加に繋がりそうな方は計4名となり、全体の約25%程度となりました。